

特集／小林 栄 結城市長 2期就任インタビュー

歴史ある結城を未来へつなぐ

～健康・経済・教育を柱に新たな政策～

◆新たな工業団地開発
新たな工業団地として事業を進めている繁昌塚南地区については、本年度中に



◆学校跡地活用も協議
現在、多くの市町で学校の統廃合などが進み、跡地が生まれてきています。

◆新たな工業団地として事業を進めている繁昌塚南地区については、本年度中に

◆健康・経済・教育を柱
結城を未来に繋ぐ責任の重さを感じる。まもなく市制70周年を迎えるところで、今後も市が繁栄していくため、改めて市の現状に向かっていく必要がある。

2期目では、健康 Kei

nko・経済 (Keizai)・教育 (Kyōiku)・3つの柱となる事業

を掲げ、その頭文字から新3K宣言と名付けた。健康は、人が幸せに生きるために、運動を行える場所つくりなど、あらゆる施策を検討したい。

経済については、観光事

業に対応した商業の活性化、工業団地の早期整備などを進めるなどで、持続可能な農業・商業・工業の振興を図っていく。教育の面では、子どもたちの個性を伸ばす一助となるような環境を構築したい。

これらの課題に、市民の皆様ども力を合わせて取り組んでいく。

◆健康・経済・教育を柱
結城を未来に繋ぐ責任の重さを感じる。まもなく市制70周年を迎えるところで、今後も市が繁栄していくため、改めて市の現状に向かっていく必要がある。

2期目の当選を果たした小林栄市長が掲げるの

は、健康・経済・教育を柱とした新たな政策、市民の健康を守り、経済を成長させ、子どもたちの未来を明くるするため、1期目の経験を活かしながら事業を進めていくことを意図する。また歴史ミュージアムなど、市の文化的な側面を支える施設についても引き続き検討を進める。歴史ある結城を未來へ繋ぐため、奮闘する小林市長の思いを聞いた。

◆旧庁舎跡地に複合施設
設計業務が進んでおり、2027年度の開校を目指していく。西小学校と城南小学校については、有識者会議において統合の方向性を提議され、その後、両校の実情や保護者・地域住民の意向などを踏まえ、「学校規模の適正化」を念頭に、学校のあり方を検討している。

来年度中には見通しがつ

くと思うので、また新たな

工業団地についても検討し

なければならないと考え

いる。

造成工事についても

予定です。

◆旧庁舎跡地に複合施設
も都市計画が決定となる予定。来年度には組合が設立指す。また国・県などのパイプラインを活かし、優良企業の誘致も並行して進めていきたい。

農地一部を地山林となっ

ていて。造成工事についても

予定です。

◆旧庁舎跡地に複合施設
も都市計画が決定となる予定。来年度には組合が設立指す。また国・県などのパイ

プラインを活かし、優良企業の誘

致も並行して進めていきたい。

農地一部を地山林となっ

ていて。造成工事についても

予定です。